

観光・文化・スポーツ・産業



まちのにぎわいづくり事業

❑ 息栖神社(東国三社)を核とした広域観光の推進に向けた整備
 息栖神社での観光滞在時間を延ばすことにより、神栖市の魅力をより知っていただけるような拠点施設整備の実施。神社前の市道や舟だまりの景観整備や、初詣などの混雑時における路上駐車問題への対応として駐車場も整備。



❑ 他市町との連携による観光の情報発信

東国三社を盛り上げるため、近隣3市と連携し、各市の神社や観光地を紹介するホームページの整備。また息栖神社、磯前神社(大洗町)とともに鹿島神宮の三摂社と称する説もある「手子后神社」など歴史ある名所をアピール。



❑ 神之池周辺の魅力づくり(桜の名所づくり・公園施設の整備)

小さなお子様を連れてご家族からご年配の方まで多くの世代に愛される場所となることを目指し、ランニングステーションの整備や遊具・休憩施設の整備を検討。また、観光資源となる桜の樹木調査を行い、神之池の気候に適した植樹を行い、樹勢の回復、改善を図る。



❑ 鹿島臨海工業地帯工場夜景のツーリズム促進



❑ スポーツツーリズムの推進

令和元年に「神栖市スポーツツーリズム推進協議会」を設立し、関係団体からご意見をいただき、連携して取り組む体制を創設。スポーツ団体の合宿や大会誘致により、交流人口の増加と地域活性化に繋げる。



防災アリーナ、市内テニスコート・サッカー場・野球場などの有効活用

漁業・農業の地元産業の振興

❑ 水産業元気アップ支援事業補助金の創設



❑ 天敵昆虫による害虫駆除への補助(農業)



❑ かんしょ(さつまいも)栽培拡大の取り組み



神栖市の観光拠点づくり

❑ 道の駅・拠点づくり

道の駅などの観光拠点の整備を検討。神栖市の農産物や魚産物などの地場産品の販路開拓などを地域で連携し、にぎわいを創出する集客施設を目指す。



文化、芸術、スポーツの振興

❑ チュニジアオリンピックカヌーチームの神之池での事前キャンプを実現

❑ プロバスケットチーム『茨城ロボッツ』・プロ野球チーム『茨城アストロプラネッツ』とフレンドリータウン協定を県内初の締結

❑ 文化センターリニューアルの実施(空調設備更新・エレベーター新設)

❑ みんなのギャラリー創設(若松公民館内)



魅力ある・誇れる神栖市を目指して

石田進

いしだすすむ

<https://ishida-kamisu.com>

困難(コロナ禍)をみんなで乗り越えよう

石田進が目指す5つのまちづくり

1. 市民の命を守るまちづくり
2. 市民に優しいまちづくり
3. 魅力あるまちづくり
4. 教育力を高め、誇れるまちづくり
5. 豊かな自然・環境を育むまちづくり

石田進 プロフィール

昭和33年9月2日生 ○型
 千葉県立銚子商業高等学校 卒業
 東海大学政治経済学部 卒業
 神栖ライオンズクラブ 会員
 かしまJCSシニアクラブ 会員
 鹿島港振興協会 会長
 社会福祉法人神栖市社会福祉協議会 会長
 公益財団法人神栖市文化・スポーツ振興公社 理事長 など
 神栖市知手中央在住

平成29年12月~
 神栖市長
 茨城県議会議員(3期)
 平成27年
 保健福祉委員会 委員長
 平成28年
 防災環境商工委員会 委員長
 平成29年
 情報委員会 委員長 など

医師不足への取り組み

- 主要救急・急性期医療機関の常勤医師数 **40%増**
 ↳ H29年42人→R3年**59人**まで増員
- 神栖市内診療所の誘致
 H30年度~令和3年度(6月現在) **6件増**
 さらに、現在進行中案件が複数あり!!

市民と共に歩んだ4年間

- 行政区からの要望達成率
 R2年度 **86.6%**
 H29年度に比べて **16%増**
 (H29年度70.9%)

- 教育施設の整備充実
 市内全ての幼稚園・小中学校に
エアコン設置(特別教室含む)
トイレの洋式化

住みよい神栖への取り組み

● ふるさと納税を活用した神栖のPR活動
 R元年度、約**2億7,000万円**
県内7位の実績
 ※H29年度、約2,500万円(県内28位)

約4,200万円赤字だった収支も
 約**5,000万円**の黒字化に成功!!

● 神栖市公式ホームページが全国862自治体のうち唯一の「Aレベル」評価を獲得!

まちの魅力度アップへの取り組み

4年間でこんなに変わった!! 神栖市

新可燃ごみ処理施設整備への取り組み

基本構想時 本体整備費 約216億 → 本契約時 約**149億**
67億円 施設本体整備費の大幅削減に成功!!
 総額にして **163.4億円** の効果!!
 国や県と連携することにより 約**35億6,000万円** + 約**60億8,000万円** 約**96億4,000万円** に大幅に増額 ※最大27億円(出来高)を含む
 新たな補助金等を確保 補助金等総額

こんなに変わった神栖市ですが、4年間で財政状況はさらにランクアップ!!

財政健全度ランキング

全国順位 **第19位** → **第8位** (H29年発表)
 R3年発表
 県内順位 **第1位** (H29~R3年発表)

医療・健康



市民の命を守るまちづくり

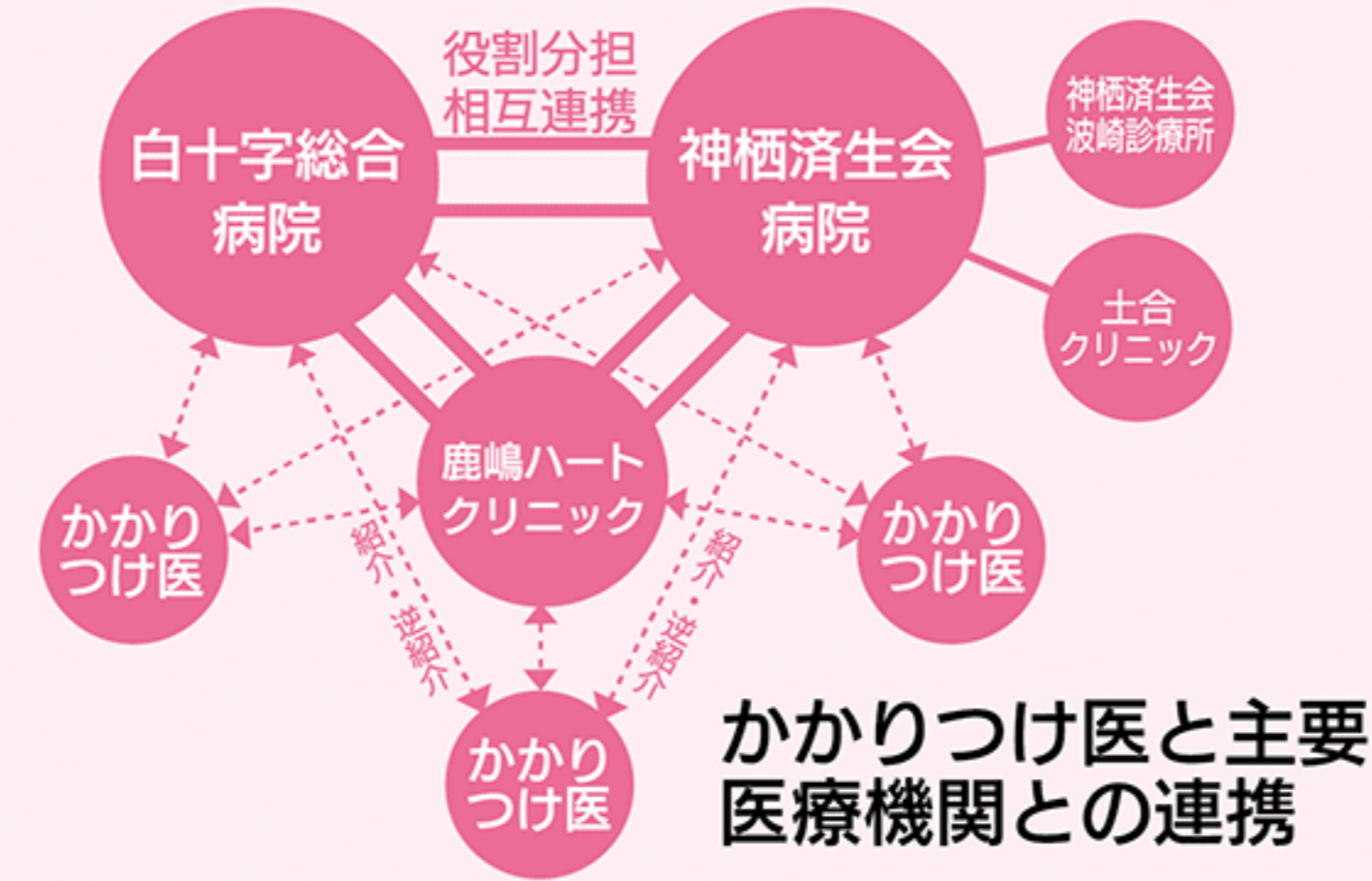
医療特別対策事業

医師確保に対する取り組み

- 医師確保事業補助金（拡充）
- 地域赴任医師支援金交付制度（新規）
- 医科大学と寄附講座を開設
- 診療所開業支援制度（新規）
- 医師及び看護師修学資金制度
- 若手医師きらっせプロジェクト事業（新規）
- 若手医師受入支援事業補助金（新規）

地域医療体制の整備促進

救急隊と循環器医師を直結するホットラインを設置。消防本部の協力により、平成28年当時51.2分かかっていた救急搬送所要時間を平成30年、令和元年ともに**50分をきることに成功**。



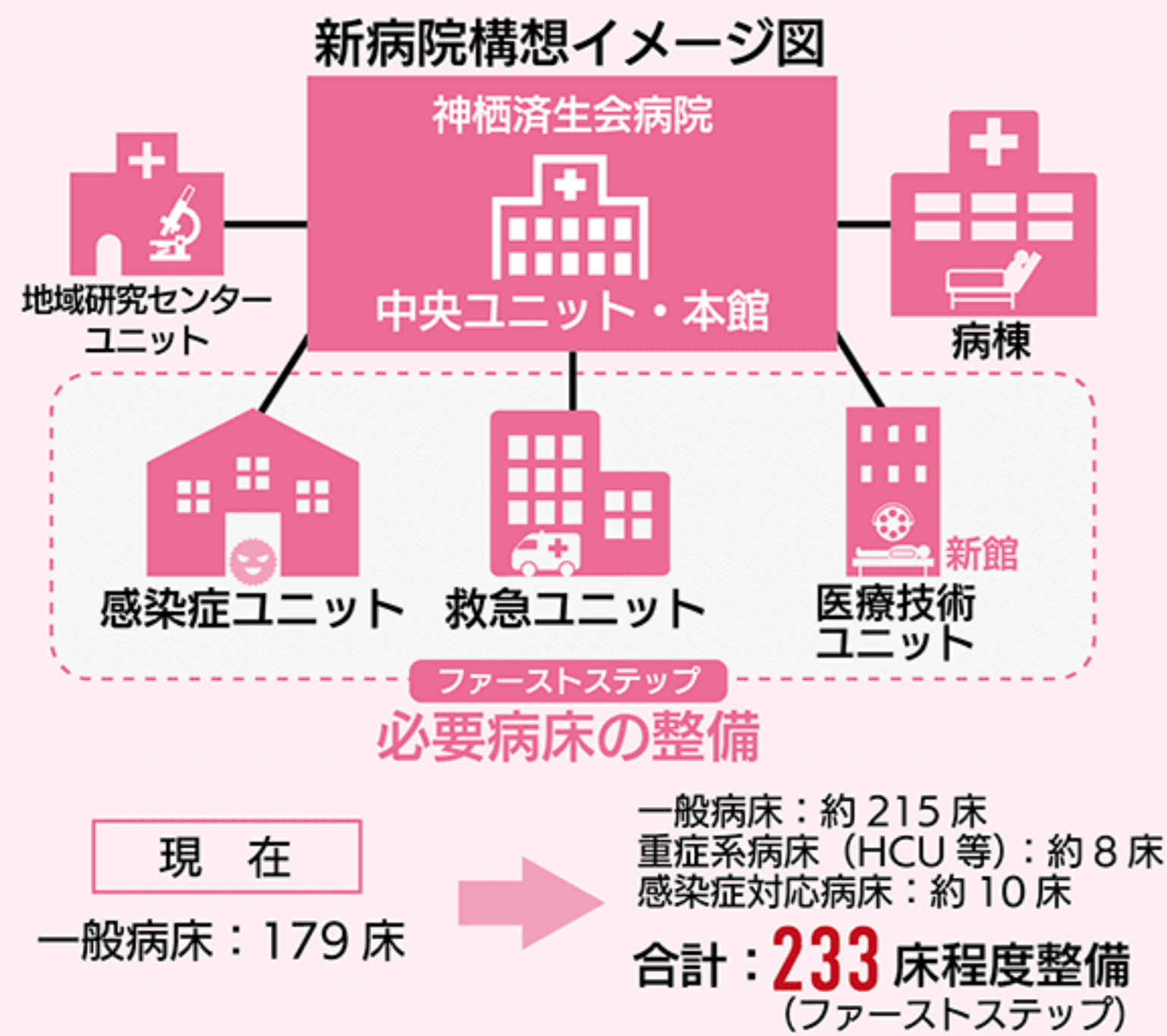
かかりつけ医と主要医療機関との連携

様々な対策の結果

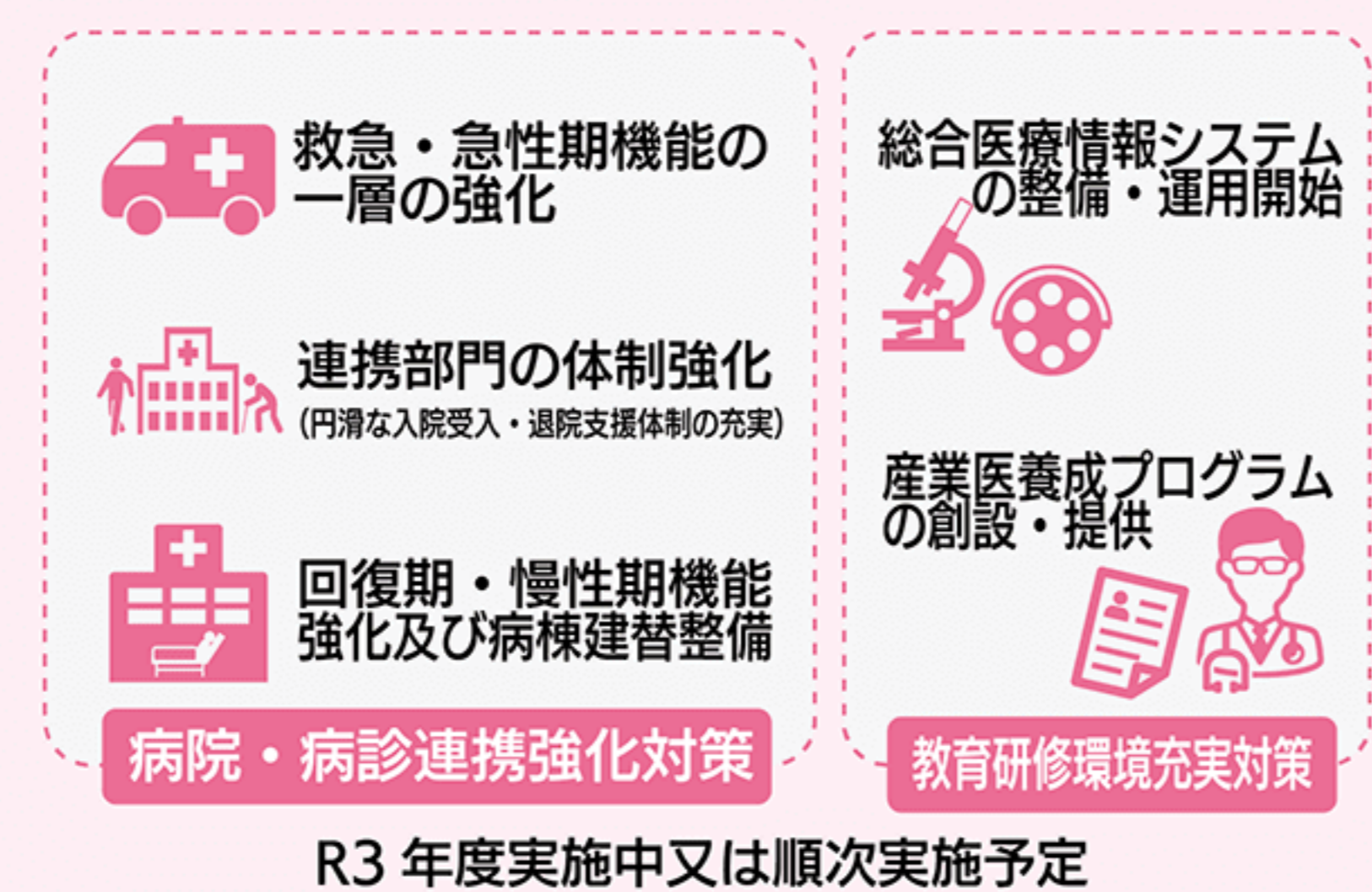
主要救急・急性期医療機関の常勤医師数
4年間で**17名増員40%増**

神栖市内診療所の誘致
令和3年度6月現在**6件増**
(※H30年度~)
※さらに、現在進行中案件が複数あり!!

神栖済生会病院の整備 (R6年度開設予定)



白十字総合病院の整備



健康長寿のまちづくり

- がん検診の個人負担金無料化
 - シルバーリハビリ体操の普及
 - グラウンドゴルフや温水プール利用の拡充
- 緊急通報システムの要件緩和
- 対象者を独居高齢者等に拡充

災害対策



津波・排水対策事業

災害に対して、万全な対策をする為に、各対策チームを発足し、ソフト面の強化や対策事業・整備事業（ハード面）を国や県と連携して、強力に進めました。

- 防災減災対策チームの設置
- 利根川下流域治水対策協議会の発足
- 防災士協議会の結成
- ソフト事業

- 北公共埠頭雨水幹線整備事業 (大野原・平泉・深芝地区)
- 治水・津波・高潮対策 (利根川河口域・矢田部西松下地区)
- 本郷地区浸水対策事業
- 須田団地・太田・矢田部地区の排水路整備事業
- ハード事業

市民の命を守るまちづくり

討議資料

子育て・教育・暮らし



教育力を高め、誇れるまちづくり

市民に優しいまちづくり

子育て日本一プロジェクト

- 子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点の開設
保健師と子育てコンシェルジュを配置し、妊産婦や子育て中の保護者に対して相談、情報提供や支援プランの作成を行う。
- 子育て応援ギフトカタログ (1万5千円分)・応援券 (3万円)
妊娠出産時・小学校入学時に役立つカタログと応援券をそれぞれ贈呈。
- 待機児童ゼロの実現
H29年度29人 → R3年度**0人**
※国が定義する待機児童数による
- インフルエンザ予防接種の追加助成 (1歳~小学6年生は期間内2回)
- かみす子育て住まい給付金
子育て世帯等の住宅取得による移住定住を促進するために、住宅取得費の一部を助成。(最大100万円)

健康で人にやさしいまちづくり

- ひとり暮らしの高齢者などの住宅に設置される「緊急通報システム」の設置要件を見直し、必要とされる対象者を緩和

動物にやさしいまちづくり

- 犬猫動物愛護施設の設定を目指す
令和2年度に制定された、神栖市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を目指し、**殺処分ゼロ**に向けた取り組みを行う。

充実した教育環境へ

- 神栖市教育センターの設置 (R3年度)
地域の要望を受け、閉校後の校舎を利活用し、教職員の研修施設や地域の方々が利用できるスペースを備えた教育研修施設を設置。
- 体育施設(プール)整備 ※小中学校プールの集約化
- 県立高等学校との包括連携協定を締結
市と市内県立高等学校との包括連携協定に基づき、**地元高等学校の魅力ある学校づくり**を目指し、人材育成に寄与する支援体制及び生徒の通学利便性の向上の構築を図る。
- 神栖市内の小中学校14校、中学校8校、幼稚園4園全てにエアコンを設置済
- 市内幼稚園、小中学校のトイレを全て洋式化へ
- 市内小中学校全てに、1人1台タブレット端末を配布・各教室に大型モニターを設置
- 暮らしの質を高める
- 生活インフラ(道路・上下水道等)の整備促進
- 困りごと相談室をH30年に開設し、4年間で**722件**の相談に対応
- 地域交流・保健福祉機能拠点整備
- デマンドタクシーをエリアを越えて乗り継ぎなしで、白十字総合病院、神栖済生会病院へ行くことができる「エリア間移動サービス」を開始
- 区長会と連携し、ポイントカード事業で区・加盟率の向上を目指す
- ごみ箱設置の補助

新型コロナウイルス感染症対策

※スピード感あるワクチン接種・12才以上全ての市民への予約受付開始 (神栖医師会と協力・連携)

神栖市独自の対策

総額約**19億6,000万円** **39項目**
※今後も市民生活、事業者支援に全力!

神栖市独自の対策支援を展開してきました。

- 中小企業事業資金利子補給費補助金
自治振興金融での事業資金融資にかかる利子補給率を50%⇒100%(全額)上乗せして支給。(3年間)
- 神栖市中小企業応援助成金
県の休業要請対象の業種、業態に該当しておらず、かつ売上が令和2年中に70%以上減少した事業者に対し、1事業者あたり最大20万円を支給。
- 給食費の無償化
休校により経済的負担が増加した児童の保護者への負担軽減を図るため、給食費の保護者負担分を無償化。
- 医療特別対策事業
新型コロナウイルス感染症拡大に備え、緊急に必要となる地域医療提供体制の整備を支援。(施設改修工事や設備機器等に対する補助)

- 地域振興券発行事業 (神栖つかえールクーポン)
売り上げが落ち込んでいる小規模事業者の支援として、市民の消費を喚起するためにクーポン券を販売。(15,000円分を10,000円で販売。30,000冊発行)
 - ひとり親家庭等応援事業
ひとり親家庭に対し、児童一人につき10,000円分のQUOカードを配布。対象児童数: 約1,900人 対象者: 児童扶養手当受給者、医療費助成制度対象者(ひとり親家庭)
 - 新生児子育て応援給付金支給事業
定額給付金の支給対象外(令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた新生児)となっている新生児のいる世帯を対象に、一人あたり3万円の給付金を支給。
- 項目が多く、全て入りきらないため、大変恐縮ですが、その他新型コロナウイルス感染症対策の対策についてはホームページなどをご参照下さい。
- 石田進ホームページ
<https://ishida-kamisu.com>

討議資料

市民の命を守るまちづくり